

Hansen, Henny Harald

Costume cavalcade.

London, Eyre Methuen, 1975(1956) (文献番号 3-52)

ハンセン著

服装の騎馬行列(服装の歴史)

ハンセン女史はデンマークの人類学者であり、かつ服飾研究者としても名高い。

本書は、“Klaededragtens kavalkade” (コペンハーゲン、ポリティケンス社、1954) の英語版で1975年の再版であるが、初版は1956年7月に出版された。原題「服装の騎馬行列」の示すとおり、忠実な美術史的資料に基づく約700の挿絵による古代から現代までのヨーロッパの服装が96頁にわたって構成されているいわば衣装絵巻である。挿絵は原資料に基づいて、その特性を失うことのない範囲で図式化した着装行列図として描かれているので、単なる模写とはまた異なった各時代の服装の特徴が統一したスタイルで見られる。序論には、次の意図が記述されている。各時代の服装の変遷は、「時代様式」と呼ばれる一時代の生活様式の中で、人間が自らを取り巻く周囲のものと調和が保てるように、服装の面からも外見に合わせようとしたことから生まれた。ファッションは、決してデザイナーたちによって起こってきたのではなく、その時代に一般的に流行していた「時代様式」の表現なのである。一時代の様式は独自の生命を持ち、それゆえ、独自の生活過程を持っている。ファッション・デザイナーの特有の才能とは、その時代のスタイルの特徴を発見する能力にある。服装の歴史は、その時代の人々が着ていた服装を示しただけでは、無意味なから(穀)にすぎない。衣服の着装は、各時代の服装をその時代の人々がどのように着ていたか、また着ることをどのように考えていたかを示すことによって、服装の歴史に対する知的な理解がなされるのである……と。

日本語版『服装の歴史』(文献番号 3-52-③)、仏語版“Histoire du costume” (文献番号 3-52-②)、独語版“Knaurs Kostümbuch”はフォン・デア・ミュルベ(Wolfheinrich von der Mülbe) 訳により、1957年にミュンヘンのドゥロエメルシェ社から出版された。巻末に、英語版、仏語版、独語版は索引を、英語版と仏語版は服装に関するブック・リストを収録している。他にイタリア語版“Storia del costume”(Torino, Marietti, 1963)、スウェーデン語版“Klädedræktens kavalkad”(Stockholm, Almqvist & Wiksell, 1967) も出版されている。